2004 年 6 月 10 日

MEDICINOVA

各位

メディシノバ社　不安障害 治療 の化合物（フェーズ２）を三菱ウェルファーマよりライセンス導入

２００４年 ６ 月 １０ 日　米国　サンディエゴ発　？　メディシノバ社（米国　サンディエゴ、代表取締役社長：清泉貴志 ）　は不安障害治療薬の可能性を持つ化合物を三菱ウェルファーマよりラインセンス導入しました。同化合物は三菱ウェルファーマでは MKC-242 としてフェーズ２試験がおこなわれてきましたが、導入後は MN-305 として弊社製品ポートフォリオに加えられます。

今回の同ライセンス導入により、弊社は製品開発ポートフォリオに４つの化合物を揃え、気管支喘息、不安障害、癌、切迫早産を対象とする新しい治療法の開発を目指します。

今回の三菱ウェルファーマとの契約により弊社は MN-305 の日本、中国、その他東南アジアを除く全世界での独占的な開発、販売権を獲得しました。

セロトニン 5-HT 1A 受容体作用薬である MN-305 は不安障害に特異的かつ速く効果を示す可能性をもち、ベンゾジアゼピン系薬剤に見られる鎮静作用がなく、また選択的セロトニン再取り込み阻害薬や選択的ノルエピネフリン再取り込み阻害薬に見られる副作用がない可能性があります。弊社は 2004 年後半に全般性不安障害を対象にフェーズ２b 試験を開始する予定です。

米国不安障害協会によれば不安障害は米国で最もよく見られる精神疾患で、 1910 万人あるいは 18-54 歳の成人人口の 13.3% が罹患していると推定されています。

メディシノバについて

メディシノバ社は画期的な医薬品の開発・販売を全世界に展開することに特化した未公開の製薬企業です。弊社のパイプラインには切迫早産、癌、喘息、不安障害を含む罹患数の多い様々な病態をターゲットにした化合物が臨床開発段階にあります。弊社ならびに弊社パイプラインの詳細についてはウェブサイト www.medicinova.com をご覧下さい。

三菱ウェルファーマ社について

三菱ウェルファーマ株式会社は前ウェルファイド株式会社と三菱東京製薬株式会社が 2001 年 10 月 1 日合併して誕生しました。同社は継続的に世界のニーズにあった医薬品を送りだせる研究主導の世界的な製薬会社をめざしています。

三菱ウェルファーマ社は画期的新薬を開発するために創薬基盤を強化しています。特に精神疾患、中枢神経系、循環器系、代謝系、免疫系、呼吸器系、そして癌・肝疾患を治療域としてターゲットしています。

詳細はウェブサイト www.m-pharma.co.jp をご覧下さい。